

『夏期スクーリングに参加して』

通信教育コース 渡辺 真里子



スクーリングでは大変お世話になり、ありがとうございました。今から思い起こしても、あの3日間は濃く、楽しく、充実した時間だったと思います。いつもひとり自宅で勉強しているので、今回参加するにあたって一番楽しみだったのはどんな先生方、どんな仲間たちと出会えるか、ということでした。また、一番心配だったのは、お会いした先生方や受講生のみなさんと3日間、共に仲良く楽しく勉強させていただくことができるだろうか、ということでした。なので、エレベーターを降り、教室に入るときにはすごく緊張したのですが、平尾先生に親切にご案内いただいたり〔実は間違えて8階で降りてしまったのです(苦笑)〕いざ講義が始まれば、劉先生が親しみやすい雰囲気でお話くださり、一気に緊張がほぐれました。また、受講生のみなさんとも休憩時間を重ねるごとに親しくなり、普段の勉強方法や提出プリントのことなどでおしゃべりが弾みアットホームな雰囲気の中、楽しく学ばせていただくことができたように思います。

私は今までにいくつかのスクールで漢方(中医学)の基礎理論を学んだ経験があったのですが、劉先生の講義は広い範囲の内容ながらポイントはしっかり教えていただき、一番わかりやすかったように思いました。また、理論的なことだけではなく、中医学の発祥や「長夏」の意味など改めて腑に落ちたことも多く、さらに中医学に対する理解が深まったように思います。(長江と黄河の流域のお話はまさに目からウロコ!でした)このまま続けて劉先生の講義を受けさせていただければ、本当にたくさんのお話を深く理解できそう…と思うのですが、遠方ゆえにその機会がなかなか得られないのがとても残念です。

午後の調理実習は、学生の頃の家庭科の授業みたいでとても楽しかったです。また、安里先生には理論的なことだけでなく、飾り切りの方法やうどの皮のむき方など、実践

的なことをたくさん教えていただき、とっても勉強になりました。

実はまだ教科書のレシピで料理を作ったことがなかったのですが、今回試食もさせていただいて、「こんなにおいしいんだ!」ということに正直びっくりしました。食事である限り、おいしく食べられることが大前提なのは理解していたつもりだったのですが、頭だけの理解にとどまっていた、結局のところ「薬膳」に対し、難しいとかストイックといったイメージを私自身払拭しきれいかなかったようです。また、その頃少し不眠気味で初日の夜はホテルでほとんど眠れなかったのですが、2日目の夜は試食メニューでしっかり補気養血されたのかぐっすり眠れたり、3日目の冷え症のメニューは食べているうちに体の芯から温かくなっていくのが体感できるなど、効果を実感できたのも楽しい驚きとなりました。近いうちに、お気に入りとなった「黒豆入り水餃子」をぜひ再チャレンジしたいと思います!

3日目の帰り道、そのまま別れてしまうのが惜しくて何人かの方とお茶をしながらおしゃべりをしていたのですが、みなさん薬膳の勉強を通じて将来やりたいことをしっかりお持ちでとてもいい刺激を受けました。やはり、志を共にする仲間がいるのは本当に心強いですね。みんなで来年、国際薬膳師試験の会場で再会することを約束してお別れました。まだまだたくさん提出しないといけない課題があるのですが来年1月までには終了できるよう、がんばっていきたいと思います。

3日間で先生方や受講生のみなさんからいただいたもの、感じたことはたくさんあって全部書ききれませんが、これからの私にとって本当に財産となるものばかりだったと感じています。3日間大変お世話になりました。ありがとうございました。またこれからもどうぞよろしく願いいたします。



『2009年夏期スクーリングを受講して』

通信教育コース(北海道) 日高 昭子

暑さの中の3日間でしたが、今も秋風が吹き始めています。

通信教育を開始してプリントを何回か提出しつつも、効能などの四文字熟語が頭に入らずにいた時期に夏期スクーリングでしたので、受講できましたことを感謝しています。

通学はできないけれど、でも学びたい!という共通の思いの参加者ですので、どちらから?どこに宿泊しているの?と会話も弾み、薬膳の仲間がいる嬉しさを感ぜました。さて、辰巳先生の授業の開始ですが、突然当てられるので、ドキドキでしたが、中国の歴史や言葉の意味などわかりやすい講義で、楽しかったです。中国は漢詩の国だから文学的にも同じ言葉を繰り返さず、きれいな響きにするのですというお話もあり、四文字熟語の謎も解きました。

調理実習では、教室が新しくなったばかりで慣れない状況の中、安里先生が丁寧にコツを教えてください、何でもトライしてみることが大切と思えました。水ぎょうざの包み方では、学院長自ら教えてくださる場面には、ワァーと歓声と拍手でした。3日間さまざまなことを学べるという形になるようですが、皆さん実行しているのでしょうか。1日目の試食をしながらの自己紹介では、薬膳を学び始めた動機は様々ですが、自宅でコツコツと学んでいる同じ立場を共有でき、これからの学びにも勇気づけられました。

奥が深い中国伝統医学を学び、「薬膳」の言葉が一人歩きしていることを感じていましたので、薬膳の意味を伝えていけるよう努力していきたいと思っても新たにしたいところです。休憩時間に参加者の方との交流や、実習の後にスイーツを一緒にと誘ってくださり楽ししみもあり、貴重な時間でした。講師の先生、事務局の方にお礼申し上げますと共に参加者の皆様と薬膳通信ができるとういなあとと思います。これからもよろしくお願ひします。



学生募集

1. 中医薬膳師コース 10:00~16:00 ①平日コース 第1・3火曜日 ②土日コース 第2土・日曜日
2. 研究科(各コース全12回) 10:00~12:30 13:30~16:00
①第1日曜日コースと②第2火曜日コース 午前:基礎研究科 午後:臨床研究科
研究科はいろいろな講座もあります、お問い合わせ下さい